

けんこう静岡

第107号

平成23年
(2011年)
10月1日(土)

季刊 1部50円 年200円
(送料税込)

発行所
財団法人 静岡県予防医学協会
(本部) 〒421-1292 静岡市葵区建徳1-3-43
☎(054) 278-7716 F A X (054) 278-7717
<http://www.shsa.net>
(東部事務所) 〒410-0007 沼津市西沢田729-11 ☎(055) 921-1934
(西部検査所) 〒435-0006 浜松市東区下石田町951 ☎(053) 422-7800
(総合健診センター) 〒426-8638 藤枝市善左衛門2-11-5 ☎(054) 636-6460
発行責任者 石黒 満 印刷 松本印刷株式会社

「けんこう静岡」は、当協会ホームページから見るができます。

<http://www.shsa.net> または静岡県予防医学協会で見ることができます。



石山 洋 理事長・園長

石黒副会長との出会い
協会の石黒副会長とお会いした(意識としてある)のは、昭和四十年代、私が小学生の昔にさかのぼります。私の父親が浜松市学校薬剤師会会長

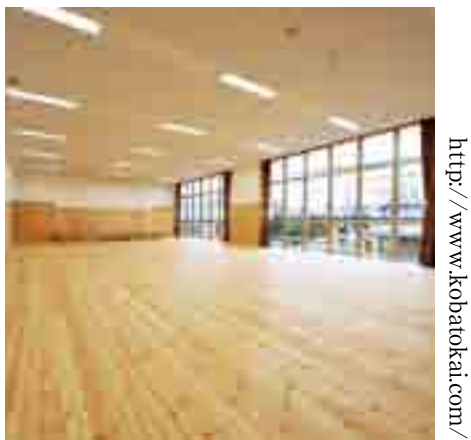
またこのような機会を与えてくださいました。お恥ずかしい内容ですが、予防医学と福祉について、現在までに私と家族が遭遇したさまざまなエピソードを医療関係の方にご紹介するのにも悪いことではないと考え、拙文も省みずペンをとりました。

昭和三十年六月、助産婦であった私の祖母が、たまたま東京で開催された「日本母親大会」に出席しました。ここで、ある県の代表の発表で、仕事のため、子どもを預けることのできない母親が思い余って自分の子どもをあやめてしまったという事例を聞いたことが、こぼと保育園誕生のきっかけとなりました。当時55才の主婦であった祖母は一念発起、「働く母親の子どもを預けることができる施設をつくる。」と自宅近くの民家の六畳二間をお借りして、家族の驚きをしり目に十一月に保育園を設立、地域のお母さんの就労を助けるため、子どもたち約二十四人の保育を開始しました。浜松市においてもま



こぼと保育園

昭和二十一年春、八十歳を超えた園長の職務遂行はだんだんと厳しくなるところ、浜松市保育課からの園舎改築指導がありました。東海地震に対応できない公共的建物について市が行う耐震構造への改築指導の一環です。当時の園は、昭和四十一年築の老朽園舎であったため、保育の安全確保のためこの指導に従うことにな



遊戯室

<http://www.kobatokai.com/>

予防医学と福祉を巡る道

社会福祉法人こぼと会こぼと保育園
理事長・園長 石山 洋

私は静岡県予防医学協会(以下協会と略させていただきます)に平成元年三月二十一日から平成二十一年七月二十日まで籍をおいておりました。特に平成四年七月からは、十七年間、新生児の代謝異常等検査、乳児の神経芽細胞腫検査(本誌平成二十三年七月一日号に関連記事)に従事し、国の厚生労働研究補助金の研究協力者として、五年間全国の先生方との共同研究の機会にも恵まれました。手掛けていたタンデムマススペクトルを用いての新生児代謝異常疾患を早期診断するシステムづくりは道半ばで後進に託すことになりました。

つとめていたことなどの関係で、当時三十代の若かりし石黒先生は、浜松の私の自宅をよく訪ねて来られ、私の父母と医学検査の技術論、日本の今後の医療のありかた、協会の未来について夜遅くまで本心に熱心に熱く語り合っていたことを覚えております。当時、「予防医学」という概念は耳新しく、予防接種やレントゲンとは別として、病気が罹ってから病院で治すもの、ということが常識の時代でした。しかし現実には、子どもたちやおとなの寄生虫罹患率は現在と比較してけた外れに高く、「輸血により肝炎に感染するのは当たり前」というあきらめの下で、B型肝炎は広く深く静かに蔓延している時代でした。この時代に協会が国民の公衆衛生を改善していこうとするその意気はかなり高いものであったと聞いておりました。

こぼと保育園は何度かの経営危機を乗り越え、法人認可後、定員三十人からやがて現在の百二十人定員までになります。二代目園長は母が保育士資格をとり、昭和五十年から平成二十三年までの四十年近く園を守ってまいりました。祖母の福祉の志をそのままに、「太陽と泥と仲間と」を保育のテーマにして多くの元気な卒園生を送りだし、理事長であった父が亡くなった最後の十年間は理事長も兼任、独力で園のかじ取りをしてまいりました。

時代とともに世相は変わり、今後新たに、さまざまな子育て支援、新たな「福祉」が保育園に期待されることが予想されます。そこに至る道、こぼと保育園はこれからもきつと辿り続けることとなります。その道をゆっくりと辿っていくこととなります。同じように協会の歩む予防医学の道も、「社会から求められるもの」は時代とともに大きくかわっていくと思います。しかしその辿る道は「ひとを支えてともに生きる」という同じ道ではないかと思っております。創立から同じ時代を同じ道を歩んできた協会も新健診センター新築中とのことと聞き、たいへんうれしいことと思っております。



ドロンコ遊び

年一回は健康チェックを!

健康はあなたの財産です
すこやかな明日のために

人間ドック 脳ドック

総合健診センター
ヘルスポート
〒426-8638 藤枝市善左衛門2-11-5
TEL 054-636-6460
FAX 054-636-6465
☎ 0120-39-6460